

飯南

いいなん

- 平成22年度 一般会計補正予算
- 一般質問に8人が登壇
- 発議・討論
- 常任委員会報告
- 議会活動報告と私の信条

飯南町議会 鳥根県飯石郡飯南町下赤名890番地
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第23号

平成22年10月20日



デカパンはいて「^{はっけ}八卦よい!!」

爽やかな秋晴れに恵まれた10月10日(日)、相撲の元祖「野見宿禰」ゆかりの地である上赤名で恒例の「めんがみ山収穫祭」が上赤名会館で開催されました。今年は大坂方面から体験バスツアー参加者も交え、相撲甚句(すもうじんく)や呼び出しの披露などがあり、地域の方々にとっても楽しいお祭りとなりました。力士が使用する大きなパンツにはそれぞれ大人2人が余裕でスッポリ!!。会場は爆笑と宴会の美味しさに包まれ、賑やかな1日となりました。

9月定例会

9月定例会は、9月14日から9月27日までの14日間の日程で開きました。

可決された主な議案は次のとおりです。

- 認 定** 平成21年度飯南町各会計歳入歳出決算認定
- 報 告** 株式会社フロンティアあかぎの経営状況報告
- 条例関係** 飯南町犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定など4件
- 補正予算** 平成21年度飯南町一般会計補正予算(第2号)など8件
- その他** 飯南町過疎地域自立促進計画など7件
- 議員発議** 飯南町議会庁舎問題調査特別委員会の設置など3件

発議（議員提出議案）

9月議会最終日の27日、意見書提出について2件・特別委員会設置について1件の発議（議員が議会に議案を提出すること）が日程に追加されました。採決の結果いずれも全会一致で可決し、意見書2件は国会（衆参両院議長）および関係省庁に提出、また庁舎問題を調査する特別委員会を設置しました。

● 発議第7号【住民の生活や生命を守るため「国土交通省松江国道事務所頓原維持出張所」の存続を求める意見書】

飯南町建設業協会より平成22年9月3日、「住民の生活や生命を守るため国土交通省松江国道事務所頓原維持出張所の存続を求める意見書採択についての陳情」がありました。これを採択し、国会および関係省庁に提出しました。

<意見書要旨>

赤名トンネルおよび晴雲トンネルの改築を地域住民は待ち望んでいること、また赤名トンネルと晴雲トンネル間一円の交通維持確保など、国道54号は飯南町行政にとって大変大きな課題を抱えている。これまで頓原維持出張所においては、これらの諸課題解決のため、重要な役割を果たしていただいているが、廃止されると、国道54号の維持確保縮小が予想され、「住民生活の困窮や脅かされる生命・当町経済の著しい疲弊」が懸念されるので、存続を強く求める。

● 発議第8号【ナラ枯れ対策の抜本強化に関する意見書】

ナラ枯れ被害が全国的に拡大するなか、飯南町においても被害が顕著になってきました。教育産業常任委員会では放置できぬ事態だという認識で一致し、委員長を提出者として「ナラ枯れ被害対策の抜本強化を求める意見書」をまとめ本会議へ提出し可決。国会および関係省庁に提出しました。

<意見書要旨>

- ・ナラ枯れによる被害木の処理に対する支援制度を拡充すること
- ・ナラ枯れ被害の拡大を防ぐために、より有効な方法の検討を進めること
- ・ナラ枯れが発生しにくい環境のナラ林を作るため、燃料等への利用可能な仕組みづくりを行うこと

平成22年度 一般会計補正予算は
赤来中学校校舎耐震大規模改修費・長期債繰上償還など

5億1,665万円増額

各 会 計		補正予算	予算総額
一 般 会 計		51,665万円	806,770万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	2,486万円	80,229万円
	老人保健事業	0万円	21万円
	後期高齢者医療事業	176万円	15,877万円
	介護保険サービス事業	150万円	3,410万円
	簡易水道事業	339万円	31,163万円
	下水道事業	1,236万円	40,675万円
病 院 事 業		286万円	93,683万円

議論が集中した案件

- 飯南町過疎地域自立促進計画
- 飯南町ふるさとの森の指定管理者の指定
- 一般会計
- 国道54号活性化アクションプラン
- 町営バスの増便
- やまといも生産組合へ貸付
- 赤来中学校耐震大規模改修

決算審査特別委員会を設置

平成21年度飯南町各会計の歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。

- 委員長 門 眞一郎
- 副委員長 永井 章
- 委員 伊藤 好晴
- 委員 長島 正一
- 委員 石原 敏郎
- 委員 熊谷 兼樹

飯南町議会庁舎問題調査特別委員会を設置

庁舎問題に関する調査・検討のため、平成22年9月27日からこの調査が終了するまで、飯南町議会庁舎問題調査特別委員会を設置しました。

- 委員長 永井 章
- 副委員長 門 眞一郎

議長以外の11名の議員で構成する。

■本町の畜産施策は

Q 口蹄疫対策を

A 県防疫マニュアルを基に

熊谷兼樹議員

宮崎県で発生した口蹄疫は、畜産農家をはじめ、地域経済や住民生活に深刻な影響を与えました。

危機意識が高まっているいま、町として対策を検討するべきです。

山崎 英樹町長

本町は県防疫対策本部の



指揮下で協力をします。

現在、独自の対策として

○飼育農家台帳の整備

○埋却地の選定

○埋却作業方法の連携等を検討しています。

等

■林業振興策

Q 林業ビジョンの検討を

A 森林整備計画で振興

熊谷議員

政府は、森林・林業再生プラン推進本部を設置し、本年度末には、基本計画の見直しが行われる予定です。

この機会に、本町でも最大の資源である山林を活用するため、林業の6次産業化ビジョンを検討するべきです。



山崎町長

林業への関心が低下している中、低炭素社会づくりへの体制整備が必要で、期待は高まっています。

また、財源は国が負担するべきで、森林環境税の創設を働きかけています。

町では、早期に森林計画を見直す中で、林業振興を図ります。

9月定例会

町政を問う

一般質問

Q 雌子牛への価格補填を

A 関係者と協議して

熊谷議員

昨年創設された子牛価格補填事業は、和牛飼育農家の生産意欲低下を防ぐ効果があったと評価しています。

しかし、現行制度では、総平均が補填基準のため、発動されません。性別による価格差が10万円あり、安値の雌子牛に価格補填を望む声があります。

運用基準の見直しで対処する考えはないか。また、4月以降の補填状況はどうか。

山崎町長

子牛価格補填事業を創設した背景上、総平均での運用が良いという判断もあります。

しかし、雌子牛の価格について、飼育農家の切実な声があるとすれば、制度に矛盾をきたさない手法を、関係者と協議します。

4月以降の補填状況は、総平均価格が若干上昇したためありません。

中央家畜市場セリ風景

Q 橋梁維持対策を問う

A 今後とも橋梁調査を



永井 章議員

道路整備は、年次計画により改良と舗装が進みました。しかし、整備済み橋梁が老朽化したとして、国は地方自治体が管理する橋を調査しました。その結果、通行止めや車両の重量制限等多数あったと指摘しています。

町では橋梁の調査予算を計上していますが、実態はどうか。

山崎 英樹町長

平成21年度予算で、橋梁の建設年次の古いものから18カ所を調査しました。高欄の損傷補修と、とりかえる箇所については計画的に実施、床板の異常があるとこは経過観察とし、一部腐食のある橋は、利用頻度

Q 教職員住宅の老朽化対策は

A 解体費用を検討

永井議員

昭和30年ごろから40年代にかけては、冬期間の積雪、除雪機械の不足、道路整備の遅れで、教職員は下宿生活でしたので町は住宅を建設し対応しました。

その後の道路整備により、教職員も次第に通勤となり、八神連担地にある3戸と角井児童館裏の1戸の住宅は空き家となりました。木造建築のため老朽化もひどく修理も困難です。

解体し、跡地利用の考えはないか。

安部 亘教育長

志々小学校の教員住宅は、建設後40年近くになります。近年道路整備等により志々小学校に赴任する教職員は入居していません。建物も老朽化し、入居となれば修繕費用が相当かかりますので、今後希望がなければ、解体すべきと考えます。



老朽化した頓原地区内の橋



八神教員住宅



9月定例会 町政を問う 一般質問

Q 今後の国道54号対策は
A 54号活性化プランを実行



長島 正一 議員

尾道松江線の開通後は交通量の激減が予測され、町の将来を左右する重要課題ですが、影響をどのように分析していますか。

また、「国道54号を生かした魅力あるイベント」「里山資源を生かした産業活性化の具体的戦略」「沿線自治体や関係者との連携協議の進展」を問う。



山崎 英樹町長

路線開通後の交通量は5割の減少が予測され、道の駅などの地域経済や住民の生活・雇用に大きな影響がありますので、今定例会に「54号活性化プラン」を実行するための補正予算を計上しています。

「産業活性化プラン」は商工会やJ.Aを中心に協議・研究していますし、観光産業は森林セラピーの充実を図り、町内全体へ波及効果が及ぶようにします。「沿線自治体などとの連携」は、公共交通の確保や活性化について協議を重ねています。

Q 地場特産物に誇りを
A 支援と育成に努める

長島 議員

当町には、米をはじめとした農産物や、もち・味噌・そばを中心とした加工品など、歴史風土に根差した自慢できるものが多くあります。一過性でなく長続きする産業の育成が大切ではないか。

山崎 町長

歴史・風土に根差し、多くの人の手で育まれた物こそ本町にふさわしいものがあり、これらを伸ばすことが産業振興の基本です。必要なところへは支援し、また育成に努めていきます。



Q 米価暴落への対応は
A 資金、販売対応に努力

長島 議員

大幅な米価引き下げは、農家の水田経営継続に大きな心理的影響をもたらしつつありますが、実情をどの様に感じているか。また、米価の損益分岐点はいくらですか。

このような状況下において安心して農業を続けるためには、資金対策や過度な値崩れを起こさない努力が必要で、行政として何ができるのか、町の施策を問う。

山崎 町長

想定を越した米価下落を大変憂慮しています。本年産米の精算価格は、不安定



要素があり、一概に言えませんが、概算金5,800円に戸別所得補償などを加味して検討すると、30kg当たり約7,000円ほどになろうかと思えます。損益分岐点は、15ha規模の集落営農法人を想定したとき、6,100円程度です。農家が資金ショートしないよう対策を考えます。

飯南米の販売については担当者置き適正な値段で売るようPRし、また、精米所を設置し、飯南高原米のブランド化に努めます。

Q 生活習慣病対策は
A 受診率65%を目指して

小野 覚 議員

生活習慣病を早期に見出し、予防するためには定期検診は欠かせません。平成21年の受診率は46・1%、その内、指導対象者は11・9%でした。この数字をどう評価しているか。健診の受診率アップが医療費の抑制につながるがどう対策するのか。受診者の糖尿病とその予備軍が県下1位、女性のがんの発症率も高くなっています。その原因をどう認識しているか。

小児期の生活習慣病が多く見られるようになったと指摘されているが本町の実態はどうか、また対策は取られているのか。



山崎 英樹町長

本町の健診の目標は、平成21年度46%、実施が46・1%です。

指導対象者の県平均は17・9%で、この数値が低いほど良い状況ということ。実施計画では平成24年の受診率の目標は65%としており、これを目指して取り組みます。

受診率向上対策は、健康教室での呼びかけ、広報誌でのお知らせなどで行い、検診にいけなかった人に対し、飯南病院で再受診が受けられるようにしています。糖尿病の発生率が高いのは食習慣とアルコール摂取によると考えられます。

小児期の生活習慣病は本町でも同じような傾向にあります。食生活の改善に一層取り組む。

Q 集中豪雨対策は
A 地域防災活動が重要

長島 議員

庄原市の山間部を襲った集中豪雨で、集落は土石流と流木により壊滅状態です。中心地から離れた地区では課題が多々ありますが、災害時には正確な情報に基づく適切な指示が重要です。

そこで、集中豪雨対策が重視される中、「ハザードマップの活用」「情報収集と伝達の手段」「事前の備え」について考えを問う。

山崎 町長

平素からハザードマップを活用し、災害対応の意識を高める取り組みを行います。また、災害時には情報の収集と伝達が大切であり、県の防災システムや気象情報



庄原市の集中豪雨

報の活用により判断します。

事前の備えについては、防災訓練を重ね、避難場所の検証とともに地域単位の防災活動が重要であり、住民への啓発活動を進めます。





志々小学校

Q 耐震化に向けた支援策は A 平成23年度から助成制度導入

小野議員

本町では大きな地震は発生していませんが、可能性は無視できません。耐震改修促進計画に基づいて対策を講じることは重要です。

特定建築物のうち、「多数のものが利用する建物」は対象棟数23棟のうち7棟、「通行を確保すべき道路沿いの建築物」は対象棟数18棟のうち14棟の耐震化をすすめる必要があるとされています。外に対象となる建物は無いのか。

耐震化には耐震診断、耐震改修に必要な費用の負担が促進の障害要因と成っています。

「通行を確保すべき道路沿いの建築物」の対象は、ほとんど木造の民家で、計画では「民間の取り組みがうまく機能するようにさまざまな施策、支援を実施する」とされていますが、具体的な支援策はどう考えている

のか。平成24年までに改修する計画となっているが見通しはあるのか。

志々小学校は木造校舎なので、耐震基準がなく、当面耐震化はされないとのことですが、町内の児童、生徒が同じ環境であるのが理想と思うが、教育長の考えはどうか。

志々スポーツセンターは小学校の体育施設として利用していますが、特定建築物になりません。特定建築物と同じように耐震診断、公表が必要ではないか。

山崎町長

特定建築物の対象建物は計画書に記載されているものの以外はありません。

「通行を確保すべき道路沿いの建物」は頓原市街地線の14軒で、支援策は平成23年度から国が耐震診断改修への助成制度を導入します。

Q 上下水道の耐震化率は A 98.9%を確保

小野議員

地震災害時に上下水道等のライフライン寸断による機能停止の恐れがあります。生活環境確保に不可欠な施設ですが、耐用年数等耐震化または耐震化率はどのようになっているのか。

山崎町長

上下水道施設の耐用年数は60年、配水管は40年、機械電気施設は10から20年です。下水施設はこれに準じます。赤来地区の配水管で耐用年数に達しているものが若干あります。

管路の耐震化率は町全体で98.9%、赤来地区で95.8%、頓原地区で99.8%です。

9月定例会 町政を問う 一般質問

Q 価格保証を要求せよ

A 国の制度設計を見極める



伊藤 好晴議員

平成22年産米の概算金が発表され、コシヒカリ1等米が5,850円で、昨年より1,050円値下がりしました。生産者米価は暴落を続け、多くの農家が労賃分すら出ない状況のため、全国で耕作放棄が広がる要因となっています。

政府は、戸別所得補償制度を導入しましたが、生産者米価が生産費を下回る事態が常態化し、現在の米価では生産を維持できないことを認めた政策です。農家

Q 高齢者の見守り活動は

A 日本一の健康福祉の町に

伊藤議員

各地で高齢者の所在不明が明らかになっています。

本町では、民生委員、社会福祉協議会、老人会の活動で地域の高齢者に対する見守り活動が行われていますが、行政の取り組みもさらに強化すべきです。

Q 火災報知機の設置に責任を

A 基本は自己責任で

伊藤議員

住宅の火災報知機の設置義務は、平成23年5月31日までです。本町の設置状況は、

山崎町長

本町の設置状況は、5月末現在で42%です。

伊藤議員

設置期限までには、全世帯設置は非常に困難です。設置の勧めや相談体制を

見守り活動を前進するためには、

社会変化に伴う課題
個人情報に伴う課題
地域団体や関係機関の活動
など、さまざまな課題があります。

地域包括支援センターを中心に、関係機関で「高齢者地域見守りネットワーク」を構築することを提案します。

山崎町長

現在高齢者の見守りには保健福祉課をはじめ関係機関や近所の皆さんで訪問、声かけ活動を行っています。地域包括支援センターは、介護保険関係のサービス事業所などと連携し、見守りを行っています。提案のあった「見守りネットワーク制度」は、関係の皆さんと検討します。

り、町の助成はいたしません。扶助費で対応しています。

伊藤議員

自治体は法律に責任を持たなければなりません。消防団に任せず、町主体で取り組むべきです。

山崎町長

設置の推進は再度消防団長にお願ひし、また町としても率先して周知をしながら推進していきます。

杉戸浄水場

Q 町政座談会にもっと工夫を

A 開催についてはさらに検討



安部 誠也議員

昨年度から町内1カ所の開催になったが、きめ細かに開催すべきでは。

開催方法も一方的な説明で、意見交換の場である質問時間がほとんどなく、町民の声を聞く時間を設けるべきです。そのためには事前に資料を全戸に配布し、説明時間の短縮を図るべきではないか。座談会のまとめを閲覧できるようにもつと情報の共有と公開に力を入れるべきです。

来年度予算に町民の声を行政に反映させるために開催時期を変える考えはないのか。

Q 飯南版ワークシェアリング推進は

A 引き続き研究する

安部議員

平成19年度の町政座談会などで説明された「飯南版ワークシェアリング」は、行財政改革の一環で役場の仕事を町民に委託することはよいことだと感じました。町側も力を入れて説明されたのを覚えております。

調査研究されましたが、検証する意味でもNPO法人などへ役場業務の積極的な委託はどのように実施をされたのか。NPO法人を町民と共同で設立した経緯は、あるのか。

山崎町長
ワークシェアリングの一環としてNPO法人の設立



という思いで研究を進めておるわけですが、現在まで至っておりません。したがって町業務の委託のワークシェアリングはできておらず、引き続き研究してまいります。

Q アクションプランとトンネルの関連性は

A 交通量確保に向けて努力

安部議員

飯南町国道54号活性化アクションプランは、将来に向けての社会資本整備、町内資源を活用しての地域づくりについて検討協議を行い、キーワードは「食」「自然」「安心・快適」です。あまりにも現状の分析と比較検討ばかりで、今後のことが理解できません。施策の具体的な実施内容は、アクションプランは将来

に向けての社会資本整備も検討協議されたわけですが。わが町の緊急課題であります54号の活性化・持続的活用によって赤名・晴雲トンネルの改修・改良と高野への新設の可能性は。赤名・晴雲トンネルについて国交省松江事務所は老朽化を理由に、ただの生活道路としての要望では整備に取りかかる可能性はないとしています。しっかりと

としたアクションプランがなければ整備の可能性はないということだが、それにならうアクションプランになったのか。

山崎町長
アクションプランは8つのプランを定めこの秋から取り組んでいきます。地域資源を最大限に活用して交通量確保に向けてのプランになり得ています。

トンネルの状況は費用対効果が事業の推進に大きなポイントですが、非常に厳しい状況です。老朽化で改修が必要であると関係機関に働きかけています。

高野インターとのアクセス整備の小田線は夢のある路線だと認識しています。引き続き期成同盟会を中心に努力してまいります。

9月定例会 町政を問う 一般質問

Q 職員派遣と人事交流は

A 今後の課題とする

安部議員

地方分権時代に向かい市町村が担う役割は増大することから人材の育成・確保は重要な課題になります。民間や中央省庁、県からの職員派遣と人事交流により、新しい風を庁舎内に入れる

ためにも、外部の力を導入すべきだと考えるが。

山崎町長

かつて県から助役、職員の派遣を受けており、一定の効果がありません。質問の趣旨、ご意見を今後の課題とさせていただきます。

Q 広告事業の実施は

A 印刷物は見送り

安部議員

自主財源の確保策として3月議会、広告事業の実施について提案しました。そのときの町長の回答では「即検討してまいりたい」ということでしたが、具体的な実施状況は。

ホームページへの掲載は、現在具体的に検討して、有料広告の掲載基準を定めてまいります。

山崎町長
町広報誌、封筒などの印刷物は小規模であり、人件

そのほか「住宅用火災報知機の設置、元気な地域づくり事業」などの質問がありました。



晴雲トンネル



赤名トンネル

Q 米価下落への対応は

A エコ米のブランド化で

門 眞一郎議員

本年から実施される、米所得補償モデル事業により10a当たり15,000円が交付されることや、21年産米の過剰在庫が40万トンに上ること、22年産米の作況指数が102のやや良と予測されていることなどにより、22年産米概算金が1,000円余り下落しています。

米価がいつとときに15%も下がり、農業者の生産意欲が失われる可能性があります。また、来年度は生産割当て数量が減らされるとの情報もあり、転作など更なる負担も危惧されています。

農業者の生産意欲を喚起するためどのような方法で臨むのか。
モデル事業の交付金の遅れや、価格下落による減収と異常高温のため品質低下による減収により、年内の借入金返済や買掛金の決済などが困難になる可能性

があります。救済の具体的な方策は何か
米の生産にあたり、更なる経費節減のため、本町はエコロジミに取組むとしています。戸舎一丸となって推進に努めるべき。



山崎 英樹町長
売れる米づくり事業の中で、80%をエコ米にする事を目標に推進しています。米の価格が下がってゆく中で、コストの削減を図りながら、収量を確保する勉強会を行い、さらに町まるごと安全安心で環境にやさしい飯南高原米を生産することでブランド化をはかり、消費者の評価を受けるようPRに努めます。

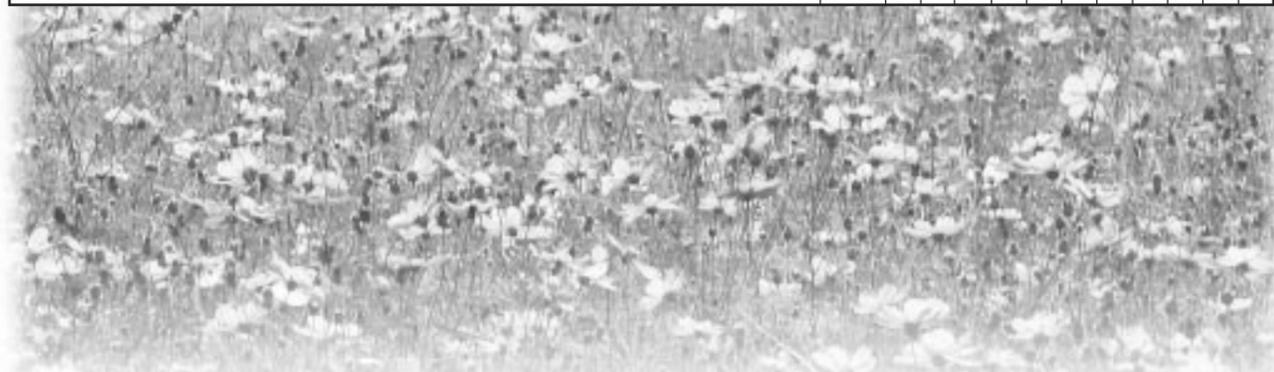
モデル事業交付金の交付が年を越すことになった場合、つなぎ資金などで対応します。エコ米の推進は、職員ともども取り組めます。

第6回定例会における採決の結果

件名	結果	賛成議員										反対議員		
		熊合兼樹	石原敏郎	安部誠也	門眞一郎	長島正一	永井章	伊藤好晴	瀧尻行雄	難波俊司	小野覚	安部朋次		
平成21年度飯南町各会計歳入歳出決算認定(決算審査特別委員会へ付託)	-													
株式会社フロンティアあかぎの経営状況報告	-													
飯南町犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定	可決													
飯南町農林業研修宿泊施設の設置及び管理に関する条例の制定	可決													
飯南町子ども等医療費助成条例の一部を改正する条例	可決													
飯南町ふるさとの森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決													
公の施設(飯南町ふるさとの森)の指定管理者の指定	可決													
公立雲南総合病院組合の解散	可決													
公立雲南総合病院組合の解散に伴う財産処分	可決													
公立雲南総合病院組合の解散に伴う事務の承継	可決													
雲南消防組合規約の一部を変更する規約	可決													
雲南環境衛生組合規約の一部を変更する規約	可決													
飯南町過疎地域自立促進計画	可決													
平成22年度飯南町一般会計補正予算(第2号)	可決													
平成22年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決													
平成22年度飯南町老人保健事業特別会計補正予算(第1号)	可決													
平成22年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決													
平成22年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決													
平成22年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決													
平成22年度飯南町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決													
平成22年度飯南町病院事業会計補正予算(第2号)	可決													

第6回定例会における議員提出議案採決の結果

発議第7号	住民の生活や生命を守るため国土交通省松江国道事務所頓原維持出張所の存続を求める意見書(案)の提出	可決	賛成議員										反対議員		
			熊合兼樹	石原敏郎	安部誠也	門眞一郎	長島正一	永井章	伊藤好晴	瀧尻行雄	難波俊司	小野覚	安部朋次		
発議第8号	ナラ枯れ対策の抜本強化に関する意見書(案)の提出	可決													
発議第9号	飯南町議会庁舎問題調査特別委員会の設置	可決													



Q リーディング産業を振興せよ

Q 選管事務の実態は

Q 監査委員の意思疎通は

Q できていないと思う

Q 決定は4名の委員で



石原議員
本年6月の定例会で、「選挙管理委員会は事務局の言うままに承している」といった質問がありました。事実とすると、由々しき問題と思うが実態は。

山崎町長
6月議会では、私に対して質問があったので答弁をしました。選管当事者としてはありませんでしたが、ご指摘の通りですので、今後気をつけます。

石原議員
代表監査委員は議会全員協議会には出席しないのが通例となっています。全協でのやりとりを詳細に知らない、監査委員として支障をきたすのではないかと危惧しますがどうか。

安部 昇代表監査委員
私は定例議会に出席し、全協には出席していませんが、その情報は議会選任監査委員から伝え聞いており、それで十分だと判断しています。二人の監査委員間の意思疎通は重要で、できていないと思いますが、今後ともさらに図ってまいります。

石原 敏郎議員
全国的に名を馳せた自治体には、産業振興にかける首長が必ずいますが、山崎町政10年でのような成果が上がったか示して欲しい。現況は水稲を重視するあまり米呪縛に陥り、価格保障や所得補償を頼るのみで、新たな方向性を見いだせていないと思います。

石原議員
飯南合併協議会の最終取りまとめでは、本庁方式については意見が一致し、「具体的な庁舎建設位置は新町長と町議会が判断する」という経過だったと思います。このたび「新庁舎建設検討委員会」をつくり、その

山崎町長
合併協議会の経過についてはその通りです。新庁舎の決定は、最終的に議会の特別多数議決にあることは言うまでもありません。

石原議員
代表監査委員は議会全員協議会には出席しないのが通例となっています。全協でのやりとりを詳細に知らない、監査委員として支障をきたすのではないかと危惧しますがどうか。

安部 昇代表監査委員
私は定例議会に出席し、全協には出席していませんが、その情報は議会選任監査委員から伝え聞いており、それで十分だと判断しています。二人の監査委員間の意思疎通は重要で、できていないと思いますが、今後ともさらに図ってまいります。

山崎 英樹町長
役場一丸となって産業振興に努力していますが、種々の背景があるにしても非常に厳しい状況にあり、私自身悔しい思いをしています。今後は、産業振興ビジョンを基本とし、「農林産物

石原議員
飯南合併協議会の最終取りまとめでは、本庁方式については意見が一致し、「具体的な庁舎建設位置は新町長と町議会が判断する」という経過だったと思います。このたび「新庁舎建設検討委員会」をつくり、その

山崎町長
合併協議会の経過についてはその通りです。新庁舎の決定は、最終的に議会の特別多数議決にあることは言うまでもありません。

石原議員
代表監査委員は議会全員協議会には出席しないのが通例となっています。全協でのやりとりを詳細に知らない、監査委員として支障をきたすのではないかと危惧しますがどうか。

安部 昇代表監査委員
私は定例議会に出席し、全協には出席していませんが、その情報は議会選任監査委員から伝え聞いており、それで十分だと判断しています。二人の監査委員間の意思疎通は重要で、できていないと思いますが、今後ともさらに図ってまいります。

山崎 英樹町長
役場一丸となって産業振興に努力していますが、種々の背景があるにしても非常に厳しい状況にあり、私自身悔しい思いをしています。今後は、産業振興ビジョンを基本とし、「農林産物

石原議員
飯南合併協議会の最終取りまとめでは、本庁方式については意見が一致し、「具体的な庁舎建設位置は新町長と町議会が判断する」という経過だったと思います。このたび「新庁舎建設検討委員会」をつくり、その

山崎町長
合併協議会の経過についてはその通りです。新庁舎の決定は、最終的に議会の特別多数議決にあることは言うまでもありません。

石原議員
代表監査委員は議会全員協議会には出席しないのが通例となっています。全協でのやりとりを詳細に知らない、監査委員として支障をきたすのではないかと危惧しますがどうか。

安部 昇代表監査委員
私は定例議会に出席し、全協には出席していませんが、その情報は議会選任監査委員から伝え聞いており、それで十分だと判断しています。二人の監査委員間の意思疎通は重要で、できていないと思いますが、今後ともさらに図ってまいります。

討論

議第66号 公の施設(飯南町ふるさとの森)の指定管理者の指定について

【反対討論】

石原 敏郎
平成22年度当初予算で、ふるさとの森施設の管理費として1973万1千円計上し、現在、この施設の運営はフロンティアあかぎに業務委託している。そうした中、この施設を中心とする研修館の改修工事が当初予定より大幅に遅れることになり、研修館の今年度中運営開始は事実上困難となった。従って今年度は現在通り、フロンティアあかぎへ業務委託したままでも何ら支障はない。里山コミッションの問題も含め、もう一度足下を見つめなおし、ふるさとの森施設は平成23年度から指定管理に移すべきだ。今回、フロンティアあかぎを業務委託から指定管理者へと変更するのは拙速であり、この議案に反対する。

【賛成討論】

安部 朋次
いままではふるさとの森施設の運営を業務委託してきたフロンティアあかぎが、このたび指定管理者になることが一番適切だ。フロンティアあかぎはこれまで三セクとして事業を進めてきたが、今後はこの施設を管理する中で、より大きな事業展開するものと思っている。フロンティアあかぎが、飯南町行政から離れ民間企業として独自営業するために、この施設の指定管理者になるべきであり、足がかりにしていきたい。こうしたことにおいて、私は賛成します。

リーディング産業：雇用や他産業へ幅広い波及効果を持ち、それによって地域経済を牽引する産業。
特別多数議決：地方公共団体の議会の議事は、法律に特別の定めがある場合は、過半数議決が適用されず、賛成議員の割合がさらに必要となる。事務所(庁舎)の位置を定める場合は、出席議員の3分の2以上の同意が必要である。

総務厚生常任委員会

委員長 瀧尻行雄

飯南町過疎地域自立促進計画

過疎地域自立促進措置法は、今年3月に一部が改正され、ハード事業（公共施設、道路、上下水道、など）を対象としていた過疎対策債が、地域医療の確保、生活交通の確保、集落の維持・活性化などのソフト事業にも使えるようになり、平成28年3月末日まで6年間延長されました。

過疎対策債は他の借入金と異なり、事業費の全額を借り入れることが出来、返済時には7割が交付税で還元、実質的な町の負担は3割の負担ですむ有利な借入金です。

執行部から「この計画は実施時期や予算が必ずしも確定されているものでなく、実情に応じ弾力的に運用されることを前提としている」との説明は受けたものの、これまで何の説明もされなかった新規事業が年度計画に載せられている。十分に議論を尽くした後に、今後策定される総合振興計画には載せるよう意見を付しました。

飯南町犯罪のない安全で安心な街づくり条例の制定

町の責務、町民、団体の役割を明確にし、防犯意識の高揚と自主的な活動の推進を図り、犯罪のない、安全、安心なまちづくりに寄与することを目的としています。

自らの安全は自らで守るという連帯意識のもと、協働により防犯活動を積極的に推進します。

一般会計 補正予算

【国道54号活性化アクションプラン：135万円】

中国横断自動車道の整備が進み、本町が経済的に大きく依存していた、国道54号の交通量が激減することが予想されています。

アクションプランは国道54号を持続的に活用し、交流により活力のある飯南町の実現を目指します。

平成22年度の取り組みは、「雪イベント」と、さくらの里きすき・掛合の里・とんぼら・赤来高原・ゆめランド布野、各道の駅が協力して行う「スタンプラリー」が計画されています。

【町営バス19時台に増便：270万円】

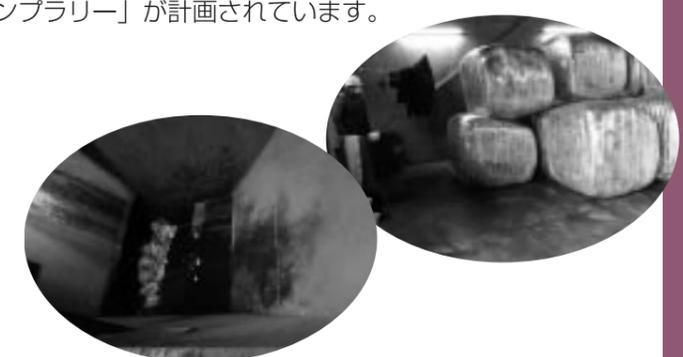
飯南高校からクラブ活動終了後のバス便に対する要望がありました。本町は飯南高校の生徒確保に多様な対策を講じていますが、このたびそのひとつとして、クラブ活動後安全に帰宅できるよう、19時台にバス便を増便することにしました。

【圧縮梱包機修理：384万円】

雲南市・飯南町事務組合一般廃棄物処理施設の可燃ごみ圧縮梱包機が、生ごみから出る汚水が原因で腐食が進み、シリンダーにひずみが生じています。このまま放置すれば大規模な改修が必要となり、長期にわたり業務休止の恐れがあるため、修理することにしました。

雲南市・飯南町事務組合
一般廃棄物処理施設

そごう広島店の飯南町フェア



教育経済常任委員会

委員長 小野 覚

農林業研修宿泊施設の設置及び管理に関する条例

農林業振興及び農林業の担い手となる人材の育成を図るため「農林業定住研修制度」を実施し、研修生等の研修宿泊拠点となる施設を、野萱地内・旧森林組合事務所を改修し設置するものです。対象となる入居者は、「飯南町農林業定住研修生」「町内の農業法人等で短期間の農業体験を行う者」等で、入居期間は2年間で上限です。

この施設が有効に利用され、U・Iターン者の新規農業就労促進が期待されます。

公の施設（飯南町ふるさとの森）の指定管理者の指定

飯南町ふるさとの森（旧県民の森）の指定管理者を、公募によらず、株式会社フロンティアあかぎを指定管理者にしたいとするものです。

審査の仮定で委員から、「不採算部門であるこの事業を従来の委託から指定管理へ移すことへの危惧」「公募によらず指定管理者とする根拠」「実質的な運営は平成23年春になることから、現時点で指定管理することへの異議」などの発言がありましたが、委員会では賛成多数で可決しました。

一般会計 補正予算

【ヤマトイモ推進事業：335万円】

平成22年3月議会において、当委員会より町長に対し「農家の生産意欲を喚起するよう申し入れ」をしましたが、これを受け今定例議会補正予算で、ヤマトイモ生産組合に対し335万円の貸し付けを行うことになりました。

これによって、平成22年産ヤマトイモ出荷代金の概算払いは、平成22年12月中に実行できることになりました。

【小規模土地改良支援事業：2,000万円】

国の「農地有効利用支援整備事業」が事業仕分けにより廃止になりましたが、事業実施希望者があるため、＜用排水路の整備や簡易な圃場整備＞について、町が事業費の50%を補助して事業を進めます。総事業費は4,000万円、そのうち、町の補助金を2,000万円とする補正予算です。

【農地有効利用支援整備事業：2,350万円】

国の「農地有効利用支援整備事業」が事業仕分けにより廃止になりましたが、島根県単独事業として実施されることとなりました。これにより、＜受益面積5ha未満の暗渠排水や農道整備＞を進めるもので、総事業費2,350万円の補正予算です。

【赤来中学校 耐震大規模改修事業：2億6,000万円】

赤来中学校校舎の耐震補強工事、及び大規模改修工事に係る補助金が認められたことによる補正予算です。工事契約は平成23年1月頃の予定で、同年の夏休みを中心に工事をする計画です。

委員から「工事期間中の授業への影響対策」などの質問があり、執行部から「工事の進捗状況によっては、体育館を仕切った仮教室も考えている」と説明がありました。



改修工事中の赤来中学校

議会活動報告(7月~9月)

7月

- 5日 議会広報編集委員会；一般質問要約作業
- 6日 **第4回臨時議会**；ふるさとの森研修館(9,156万円)、工事請負契約の締結、除雪ドーザー(1,121万円)、小型除雪車(1,195万円)、財産の取得
- 9日 雲南市・飯南町事務組合議会臨時会
- 12日 議会広報編集委員会；委員会報告、紙面校正作業
- 14日 議会運営委員会；議会運営の協議
- 19日 総務厚生常任委員会；新見市哲西町・庄原市医療介護施設視察研修
- 30日 雲南広域連合議会；管内福祉施設視察
- 31・8/1日 世田谷区民まつり；世田谷区JRA馬事公苑

8月

- 1日 総務厚生常任委員会；県消防操法大会激励
- 16日 議会広報編集委員会；県町村議会広報研修会
- 19日 **5回臨時議会**；工事請負契約の締結、赤来中屋内運動場(12,075万円)
- 25・26日 第72回町村議会広報研修会；東京、砂防会館
- 27日 雲南広域連合議会定例会
- 31日 雲南消防組合議会臨時会、雲南環境衛生組合議会臨時会

9月

- 9日 議会運営委員会；9月定例会の提出議案、日程外の協議
- 14日 **9月定例議会**；本会議、町長提出議案の説明、質疑
- 17日 **9月定例議会**；本会議、一般質問
- 21日 委員会審査；企画財政課、飯南病院、住民課、教育委員会、建設課
- 22日 委員会審査；総務課、保健福祉課、地域包括医療推進室、産業振興課
- 24日 委員会審査；現地調査、まとめ、予算特別委員会、全員協議会
- 27日 **9月定例議会**；本会議、討論、採決
- 30日 議会広報編集委員会；一般質問要約作業



島根県町村議会議員研修会(10月1日)



7月19日哲西町にて医療に関する視察

私の信条

「多聴少言」と「憂先後楽」



小野 覚

このたびの尖閣諸島をめぐる日本政府の対応は、弱腰外交を印象つけた感があります。韓国に実効支配されているにもかかわらず何もいえない日本、竹島をめぐる与野党のスタンスも残念です。

そんなことより、飯南町のことを考えると叱られそうですが、中山間地域からこそ声をあげる意味は大きいと思っています。私も、多くの皆様のご指導をいただき、全力で取り組んでいますが、反省の毎日です。

今改めて、先輩から教わった、そして議員活動にあたって常に自分に言い聞かせている、二つの言葉を思い出しています。

「多聴少言」と「憂先後楽」。

あらゆる事案に対して多くの皆様から多くのことを聴き、判断をし、方向を決める。自分の言葉は多くを必要としない。

いろいろな事案に対して、まず自分にとって憂えること、さけて通りたいことに最優先に取り組み。

この二つの言葉を、この機会にもう一度胸にたたき込み、議員活動に取り組もうと決意を新たにしているところがあります。

編集後記

記録的な猛暑でしたが、「暑さ寒さも彼岸まで」と、一気に寒さがやってきました。

異常気象のなか、米の予測作柄概況は決して思わしくなく、米概算金は全く予期せぬ低価格が示され、議会として危惧しています。一方ではこの夏、飯南ブランド確立に向け、広島・東京での町のPR活動として「紀ノ国屋飯南フェア」、絆を大切にされた熊本哲之区長のご尽力により初出店できた「世田谷区民まつり」など、農産物や加工品の販路拡大に努力が行われました。

9月議会の一般質問では、農業など産業振興策に論戦が行われました。ソフト事業として新たに産業振興の分野が可能になった「過疎計画」を可決し、今後「総合振興計画の後期基本計画」の策定にどう盛り込まれるのか注視するところです。

我々議員は、昨年夏、有権者の期待を担い議席を得ました。期待に応えるため、「皆様の代弁」「執行部のチェック」「政策提言」をしっかりと行い、飯南町発展に向け、全力を尽くして参ります。一層のご理解と格別のご協力をお願い申し上げます。

議会広報編集委員会

安部 誠也